

平成28年度 病院事業地域説明会について ご意見のまとめ（書面等でのご意見提出）《9月実施分》

	配布日	会場	地域	内容 1	詳細
1	9/16	健康福祉会館	中津川 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・縮小案に反対 ・リニア駅広場建設費を病院に ・住民投票の実施 	<p>主張：縮小案に反対します。現状維持を求めます。</p> <p>理由：行政の最大の使命は市民の生命を守ることにあります。高齢者、弱者の生命を守るためにも赤字を出しても維持するべきです。リニア駅前広場建設の金を病院に廻すべきです。</p> <p>市民合意を得ること：市政始まって以来の重要課題であり、どちらにしても市民合意が必要。そのために住民投票の実施を求めます。</p>
2	9/16	健康福祉会館	南木曾町 女性	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の確保について ・坂下病院に救急・急性期医療を残してほしい ・市民病院は駅から遠い 	<p>資料編2・表2・表3で、中津川市民病院のほうが平成21年より坂下病院より赤字が大きいのに近年は坂下病院も徐々に赤字が増えてきている。本編3-2でも損益が平成21年は坂下病院が赤字少ないのに平成23年より大きくなっている。収益が上がらないのは医師不足との質問の回答があったが、なぜ、平成21～平成23年頃から努力をしなかったのか。医師の確保は中津川市民病院にだけ努力しているのに坂下病院に対しては努力していなかったような気がするのでこれからは存続に努力してほしい。奨学金など工夫すれば坂下病院も医師の確保ができると思う。経済的なことだけ説明して市民の命を守るという真剣な姿勢がないと思う。坂下病院にぜひ救急・急性期医療を残してほしい。また地域住民についても、中津川市民病院で遠すぎて救急車で南木曾から35分から45分では緊急の場合助からないことがある。坂下病院は通院を考えても駅から近く通えるが中津川市民病院では通院できなくなる。中津川市民にとっても一部以外、市民病院に通うのはとても不便だと思う。前のように駅の近くにあって良かったと思う。</p>
3	9/16	健康福祉会館	南木曾 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会を重ねるべき 	<p>命に直接かわかる事業の大改革をしようとする際、その説明はもっと丁寧に住民がそれなりにも了解、理解を得るように実情を説明し話し合いを重ねなくてはなりません。地域を細かく、気楽に話し合え理解が深まるように。そんな方向でこれからも結論をだすまで努力してください。短時間のスライドの説明（資料付き）では解らない点は結構多い。だから学習会がもっと必要です。木曾南部の住民は、中津川市の事での決定権何も持っていません。だから、中津川市での説明会にはまいりました。参加できない、人も多い。しかし坂下病院にはつながりは深い。赤字、医師は来ない、困ったことです。福祉関係費が増とかで締め付ける。国の方針が基本にあります地域がより疲弊しないためにも頑張ってください。</p>
4	9/16	健康福祉会館	中津川市民	<ul style="list-style-type: none"> ・南木曾町・大桑からの協力していただけるのでは。（赤字負担・医師を連れてくる） ・南木曾町の行政も中津川市に頼りすぎ 	<p>南木曾町の方の発言を聞いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の幹部の方は冷静に回答されていましたが、南木曾町の方はあれだけの発言をされているのですから、しっかり協力すると理解しました。 <p>① 坂下病院の赤字分や4億円の資金不足の分の3割ぐらい負担してください？ 中津川市が全額負担するのは納得がいきません。</p> <p>② 長野県にも大学病院がありますので、医師を3人ぐらい長野県からつれてきてください。 南木曾町・大桑村の行政や政治の仕事ではないでしょうか。</p> <p>・南木曾町の行政も住民の健康を守る責任があると思います。中津川市に頼りすぎではないでしょうか。 南木曾・大桑村の行政の方も説明会に出て、中津川市市民に答えるべきではないでしょうか？</p>
5	9/15	福岡総合事務所	福岡 女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市として病院を守るべき ・リニアに税金を使わないでください 	<p>説明会を聞いて</p> <p>坂下病院はすべてにおいて大変ですと聞こえてきました。残すといったら診療所しかない表2坂下病院（人）現状維持ができない状況と書いてありますが、市として病院を守る事に時間と働きかけをしたかと本気度を問いたいです。副市長は、リニアに向けての積立金は、坂本駅周辺の整備・企業誘致等々、海とも山とも分らないリニアに税金を使わないでください。そのために、介護保険は知らぬまに高額、年金から差し引かれ健康保険、市民税も高い福祉はどんどん削られていく。リニアは市民には何も利益はない、さびれこそするが発展はない。これにあわせ、病院が無くなればもっと寂しくなる。市民が納得し病院を残すと言う本気度です。ぜひ、坂下病院を病院機能として残してください。お願いします。</p>
6	9/21	アートピア付知交芸アザ		<ul style="list-style-type: none"> ・医師不足は国の問題 ・在宅医療の充実が必要 ・機能分化で坂下病院の役割をハッキリさせる 	<p>医師不足は国の問題であり、このような大田舎の中津川に医師に来てもらうのは困難な事だと思います。住民に納得してもらうには、在宅医療の充実が必要と思います。病院の問題を病院だけの問題とせず、住民皆が困っていることとの整合性で考えていけたらいいのではないのでしょうか。機能分化で坂下病院の役割をハッキリさせることをして欲しいです。</p>
7	9/21	アートピア付知交芸アザ		<ul style="list-style-type: none"> ・坂下病院に内科以外も残して欲しい 	<p>坂下病院、市民病院と現状維持するのは難しいことはよく分かりました。坂下・・・内科、透析だけでなく、せめて整形、小児科、眼科は残せないでしょうか。入院の縮小はやむを得ないとは思いますが、廃止は出来るだけ避けてほしい。中津川市だけでなく、南木曾、大桑の人達にも大切な病院です。</p>
8	9/21	アートピア付知交芸アザ		<ul style="list-style-type: none"> ・今回、問題が解決できても、10年後、20年後にまた同じような問題が必ず起きる ・日本も中津川市も動きが遅い ・市が動けば市民も動きます 	<p>説明会で思ったこと。今の問題を解決する事も大切ですが、何を説明したいのか理解できません。この説明会で、問題は解決できないと思います。今回、問題が解決できても、10年後、20年後にまた同じような問題が必ず起きます。日本も中津川市も動きが遅い。新臨床研修制度がはじまり、12年こうなる事は分かっていたはず。赤字がたまって初めて気づく、国が動いてくれない。医師が足りない。何もかも人任せ。もっと自分達で動いてください。市が動けば市民も動きます。考えが甘い、甘すぎる。形にこだわらないでください。自分の想いで動いてください。</p>

平成28年度 病院事業地域説明会について ご意見のまとめ（書面等でのご意見提出）《9月実施分》

	配布日	会場	地域	内容 1	詳細
9	9/16	健康福祉会館	中津川 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・南木曾の方々の意見に共感 ・中津地区からも多くの方が坂下病院を利用している ・市民病院と坂下病院の2つの病院の存続が必要 ・高齢者が安心して暮らせる町づくりが大切 	<p>中津川市での説明会に参加しました。南木曾の方々からの「坂下病院はいのちを守る病院」「地域のいのち」の訴えに心を打たれました。人口減少、高齢化で「医療に頼るしかない」山間部の方たちが「なんとか坂下病院を現状のまま残したい」という悲痛な訴えに共感しました。</p> <p>「中津川駅から電車で坂下駅まで行って、坂下駅からバスで坂下病院に行けるから便利」「両親も坂下病院で最期まで世話になり、自分も今通っている」と近所にも坂下病院に通って見える方が多いことを知りました。中津地区からも多くの方が坂下病院を利用しているのです。</p> <p>中津川市でも2025年には超高齢化となるため、予測される入院患者数を受け入れるには、市民病院と坂下病院の2つの病院の存続が必要だと思います。</p> <p>財政難を理由に、国は自治体や市民に在宅介護や在宅看護を進めようとしているようですが、高齢の親を子供が世話することは、少子高齢化の現状では大変難しいと思います。老老介護や老老看護はもっと難しいと思います。最近、近所でも高齢者の1人暮らしが増えています。</p> <p>これからは医療・福祉などのちと暮らしを守る社会保障こそ充実し、高齢者が安心して暮らせる町づくりが大切です。高齢者に優しい町を作ることは、すべての住民が暮らしやすい基盤になります。</p> <p>急いで、「坂下病院の診療所化」をしてしまうと、後で後悔することが起きてくるように思います。「坂下病院の診療所化」を進めるのではなく、10年先を見通して両病院を現状のまま存続させることこそ、住みやすい中津があわしとして若者が定住し、「元気な中津川市」を維持、発展させることが出来ると思います。</p>
10	9/16	健康福祉会館	南木曾 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院と坂下病院を存続させるべき ・坂下病院を診療所すればみさか地区はさびれる 	<p>説明会。市の担当者の皆さん、副市長さん、大変ご苦勞様でした。皆さんは、国の厳しい方針の下、苦しい選択を迫られていると思います。しかし、一言申し上げます。</p> <p>①第一に、あらゆる努力をして、たとえ市の財政難の中でも、住民の命を守るためには、市政の重点に位置づけて、市民病院と坂下病院を存続させるべきではありませんか。市の財政、地域の活性化も大事ですが「地方自治の最大の目的は」「住民の福祉と安全」（地方自治法の第1条）と病院問題と位置づけていただきたい。</p> <p>②坂下病院を診療所にすれば、みさか地区はさびれます。中津川市は、ますますさびれていくことになるわけです。ショッピングセンターサラもやっていけなくなるでしょう。</p> <p>③中津川市の本音は「医師不足を根拠に、老健の移設と国の方針をバネにして坂下病院を切り捨てよう」ではありませんか。誠に残念です。南木曾町と住民は、お金も出してきた病院です。無くさないよう頑張ってください。</p>
11	9/16	健康福祉会館		<ul style="list-style-type: none"> ・南木曾町の方の意見は、それぞれの町・村また長野県に言うべき 	<p>16日の説明会に参加させていただきました。反対集会のようで意見が言える雰囲気ではなかったため、意見書として提出します。</p> <p>長野県の方へ</p> <p>①南木曾町の方の発言がありましたが、県外・行政区の違う方にあれほど文句を言われることはないと思います。それぞれの町・村また長野県に言うべきです。</p> <p>②南木曾町・大桑村または長野県で病院を建設し運営したらどうですか？できなければ、坂下病院の資金不足分を半額ぐらいは負担してください。中津川市が全て負担するのはおかしい。</p> <p>③南木曾町・大桑村の行政の方は、今後の医療行政をどう考えていますか？中津川市に頼るなら、中津川市民に同じ様に説明会をしてください。</p>
12	9/16	健康福祉会館		<ul style="list-style-type: none"> ・坂下病院として医師確保の取り組みが分かりません ・経営状況の悪化は医師不足と言われましたが、説明不足 ・当直もしない眼科が1週間連続で休診とは？本当に危機感はあるのですか 	<p>坂下病院について</p> <p>①医師不足の現状は理解しましたが、しかし坂下病院として医師確保の取り組みが良く分かりません。</p> <p>②経営状況の悪化は医師不足と言われましたが、説明不足です。</p> <p>③ホームページを見ました。この状況で、当直もしない眼科が1週間連続で休診とは？本当に危機感はあるのですか？</p>
13	9/16	健康福祉会館		<ul style="list-style-type: none"> ・坂下地区は比較的恵まれている ・救急をやっているかどうか分からない病院を頼ることはできません ・しっかりした病院が1つあればよいのではないのでしょうか ・急性期・救急は集約化して、中津川市民病院の質を上げてください 	<p>集約化について</p> <p>①近くに病院・学校・駅・スーパー等があれば本当にありがたいことですが、坂下地区は比較的恵まれていると思います。JRや路線バスや福祉バスもあり、高校への通学もそれほど困らない状況です。最低でも診療所として継続すると言われているのに、「死ねということか」との発言は言い過ぎでは。</p> <p>②救急をやっているかどうか分からない病院を頼ることはできません。近くとか遠いとかの意見がありましたが、本当に若い人に何かあったら救うことができる病院でしょうか？</p> <p>③公立病院も企業であり、赤字経営で市民の税金をつぎ込むようでは困ります。民間と違い不採算部門を受け持っていることは理解できますが、今の坂下病院は私達世代の求める病院ではありません。公立病院も淘汰される時代であり、しっかりした病院が1つあればよいのではないのでしょうか。</p> <p>④本当に良い病院とはどういう病院でしょうか？私は医療の質を求めます。急性期・救急は集約化して、中津川市民病院の質を上げてください。</p>
14	9/16	健康福祉会館		<ul style="list-style-type: none"> ・開業医を誘致する政策は出来ないでしょうか（医療モールなど） ・土曜日の午後や日曜日に開業する医院を増やしてください 	<p>①開業医を誘致する政策は出来ないでしょうか。医療特区のようなものはできないでしょうか。例えば、医療モールを市の中心部に建設し、内科・眼科・整形外科・皮膚科・耳鼻科・歯科・心療内科など誘致してください。</p> <p>②土曜日の午後や日曜日に開業する医院を増やしてください。</p>
15	9/16	健康福祉会館		<ul style="list-style-type: none"> ・民間経営に移行して利益を出して配当を実施 	<p>坂下病院を民間経営にして、広く資金を集める。民間経営に移行して利益を出して配当を実施する。</p>

平成28年度 病院事業地域説明会について ご意見のまとめ（書面等でのご意見提出）《9月実施分》

	配布日	会場	地域	内容 1	詳細
16	9/16	健康福祉会館	中津川 男性	<p>一部南木曾町住民の意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市の納税者である中津川市民が選択する案件に対し、常軌を逸した振る舞い。この説明会は極めて不快 ・中津川市民は、坂下病院の建設費残債49億円これから生まれてくる子供たちまで負わされている。他府県民にはそのような負担はない。 ・今後、善良な納税者が不快な思いをしないように備えていただくことを願います 	<p>当日押しかけた一部南木曾町住民のいたい放題について副市長にヒヤリングしたところ、他府県の住民には説明会の情宜は行っていないとのこと。ところが、当日会終了後、会館前では南木曾町のマイクロバスが待機しており、松本ナンバーの乗用車も多数みられた。</p> <p>そもそも、他府県の住民が大挙来場、自分達の個別の医療事故例など持ち出し「中津川市冷たいではないか」とか「南木曾の住民に対し説明に来るべき」とか声高に叫び、中津川市の納税者である中津川市民が選択する案件に対し、異を唱えるなど到底受け入れがたく常軌を逸した振る舞いであります。冷静な中津川市民は割り切れない中で、木曾山間部の弱者である彼ら住民に対し「惻隱の情」からか言葉を荒げる場面もなく、彼らの言い分を冷静に聞いてあげたが、中には我慢で傷席を立つものも散見された。小生もこの説明会は極めて不快であり、いまだやりきれない思いがあります。中津川市民は坂下病院の建設費残債49億円、市民1人当たり6万円強負担し、これから生まれてくる子供たちまで負わされているのです。他府県民にはそのような負担はありません。</p> <p>そこで、中津川市として背後このようなことを排除し、中津川市民が選択すべき案件に対し、他府県民が一方的にクレームをつけるような機会を持つことは断じて廃すべきであります。彼らの意見具申は彼らの行政ルートで、両県・両市間でやり取りされるのが行政間の適切なルートであります。今回は不測の事態であったと考えますが、中津川市にも重大な隙があったことは否めない点を指摘し、適正な反省の下、今後善良な納税者が不快な思いをしないように備えていただくことを願います。</p>
17	9/16	健康福祉会館	中津川 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・坂下病院は坂下町・木曾谷に必要な病院 ・リニアインフラ整備のため坂下病院診療所化をするのか ・人口・患者推計はリニア効果が考慮されていない ・医師確保は長野県との連携で解決すべき ・中津川市公立病院地域協議会には該当地域住民を複数入れるべき 	<p>今回の説明会に参加して以下の点について意見と要望を記述します。</p> <p>《意見》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.合併当事から「中津川市に2つの公立病院はいらない」という発言がありました。坂下病院の位置づけと今日の医療現場を見れば、この発言は現場を理解されていない状態での発言としか思えない。 ◎国保坂下病院の位置づけは「坂下町及び木曾谷地域を含めた、医療施設であり、疾病の予防も含める」という歴史あるものと理解しています。 2.リニア新幹線の岐阜駅、整備工場はJR東海がつくる。しかし、岐阜県戦略の道路や施設は県・市の予算が充てられるのではないかと。また、この機会を市発展の起爆剤とし企画実践することになれば、多くの市費も充てることになり、市民のためのインフラ整備に圧迫の影響が出る。そのひとつが、今回の坂下病院の診療所化などの検討課題に結びついているのではないかと考えます。 3.今回の説明用資料は、リニア効果を含めていないのではないかと。リニア効果を全て含めてシミュレーションすべきではないかと。リニア効果があいまいなまま組織を作り推進しているとしたら多いに問題であると考えます。シミュレーションの条件の③人口推計・患者推計は中津川市人口ビジョンより、と表示されているが、リニア効果を含めるべきと思います。 4.今回の説明会での説明を聞いて感じたことは「命を大切に根本的な考え方が抜けてしまっている」ことです。なにもものにも優先する事業である事を意識して、全庁で解決に向けて頑張っていたきたい。 <p>《要望》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.医者確保も難しく、共倒れになる可能性があることを説明されました。であれば、岐阜県と長野県に対し2県連携して課題解決に当たる事を強く要望します。 ◎説明会では岐阜県の見解は「中津川市で解決する案件」との発言がありました。1項◎行で記述した歴史的背景を下に2県連携して取り組むべきではないでしょうか。当日会場の南木曾町の方々から多数切実な意見が出されました。 3.今後発足する「中津川市公立病院地域協議会」のメンバーには、各団体の推薦者の他に、特に該当地域住民に対し複数の公募をお願いします。より市民の声を吸い上げるためにも必要であると考えます。
18	9/16	健康福祉会館	中津川	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県の方が中津川市の病院に対して要望していることに疑問 ・将来まで全ての中津川市民が負い続けることが良いかどうかの問題 ・坂下病院は、合併したからには、全ての市民の問題 	<p>説明会に参加して、疑問に思ったことを書かせていただきます。</p> <p>長野県の方が大きな声で中津川市の病院に対して要望をされておりましたが、気持ちは分かりますが、こんなことを何故言われなくてはいけないのでしょうか。訴えるべき先は長野県ではないでしょうか。坂下病院に大きな借金があることや市税の投入を「将来まで全ての中津川市民が負い続けることが良いかどうかの問題」に、何故、お隣の県にとやかく言われなければならないのか分かりません。そもそも、坂下病院建設時、医師確保の見通しが立っていなかったかもしれませんが、大きな借金をして、その後、合併したからには、阿木地区や坂本地区など全ての市民の問題だと思えます。</p>
19	9/16	健康福祉会館	中津川	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便の問題として、中津川市行政や市長が対策を優先度を上げて考えるべき ・必要なことは、中津川市の医療は質を上げる為に集約 ・介護や福祉・在宅療養に民間委託することが大事 ・中津川市を夕張市の様にしない為に、将来を背負っていく子供たちの視点で決断をしてください 	<p>今回の説明会で分かったことは、結局、数年後に現実として、坂下病院に医師がいなくなってしまう。最悪の事態は何かを想像しなくてはなりません。坂下病院の規模が縮小されることで、大変な不便になる市民がいることは本当に困ったことだと思います。これは、交通の便の問題として、中津川市行政や市長が対策を優先度を上げて考えるべきことです。</p> <p>あと、思ったことは、民間に坂下病院を委託してはどうかという意見が出ておりましたが、今、必要なことは、中津川市の医療は質を上げる為に集約して、介護や福祉・在宅療養に民間委託することが大事ではないでしょうか。病気が体が不自由になると、病院も大事だけれど、退院した後の療養や生活支援が重要ではないでしょうか。そちらは、市の支援を行ってでも民間に協力していただくことが必要だと思います。</p> <p>今回のような問題は、いろいろな意見が出て当たり前です。その意見を聞くことは必要ですが何が大事かを見失わないで下さい。中津川市を夕張市の様にしない為に、将来を背負っていく子供たちの視点で決断をしてください。</p>
20	9/21	アートピア知交芸アザ	福岡 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・医療スタッフの増加・定着のための積極策は余り聞けなかった ・現療養病床の機能はぜひ残してほしい 	<p>説明会の印象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両病院の医師不足、赤字経営は事実であり、撤退策（一本化）も首肯できる面はあるが、医療スタッフの増加・定着のための積極策は余り聞けなかった。やれること、やるべきことはまだまだあるのではないかと。（一例）小・中学生から進路の動機づけ策など。 <p>要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂下病院へ老健を移設するにしても、現療養病床の機能はぜひ残り、寝たきり患者等の介護を病院（施設）か自宅かの二者択一ではなく、例えば月の半分は病院、残りの半分は自宅というようなリピート介護で、本人・家族の負担を軽減しつつ長期の介護に対応できるようなシステムを作ってほしい。

平成28年度 病院事業地域説明会について ご意見のまとめ（書面等でのご意見提出）《9月実施分》

配布日	会場	地域	内容 1	詳細	
21	9/16	健康福祉会館	坂下 女性	<p>・地方独立行政法人化（非公務員型）の検討をお願いします</p> <p>・町がなくなります</p> <p>・坂下病院では、合併以前から地域包括ケアが行なわれている研修施設</p> <p>・集約を成功させるには、坂下病院の内科以外の医師の方々に、市民病院で継続して勤務してもらえるよう同意を得ることが重要</p>	<p>①地方独立行政法人化（非公務員型）の検討をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度と比べ、引き受け先医療法人を探す時間を短縮できます。 ・中津川市が進める公務員削減に適合します。 ・民間病院と同等あるいは旧坂下町時代の職員給与とし、人件費を削減 ・法人設立のため、市の負担も生じますが・・・ <p>②まちがなくなります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院、内科以外の外来医療を受けられない高齢者が、都会の子供の所へ流出する ・小児科がなくなり、子育て世代が減少する ・若い女性の働く場が無くなり、独身男性が増加する。少子化が加速します。坂下も南木曾も地域を維持できず、妻籠宿が消滅・・・ということも考えられるのではないのでしょうか。 <p>③地域包括ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂下病院では、合併以前から地域包括ケアが行なわれており、これからは2025年問題に向けて、研修施設という役割を担うべきです。 <p>【参考文献】新公立病院改革ガイドライン。伊関友伸のブログ「地域医療、自治体病院のマネジメント2016.06.25」。坂下病院ふれあい通信H25.4月号。朝日新聞デジタル「2025年問題識者に聞く2016.09.21」。光をめざして（livedoorブログ）http://blog.livedoor.jp/mark22003/archives/51238802.html</p> <p>④医師不足について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年4月開始の新専門医制度のため、市民病院の医師も医局に引き上げられるのではないのでしょうか？集約を成功させるには、坂下病院の内科以外の医師の方々に、市民病院で継続して勤務してもらえるよう同意を得ることが重要と思います。しかし、坂下病院の医師の方々は集約に反対しておられるようですので、市民病院への異動は難しく、集約されるのは患者だけではないですか？市政全般に配慮しなければならない行政の立場も重要ですが、現場の医師の意見に理解を示さない行政・議会の存在する自治体からは、医師は離れていくのではないですか？まずは、住民に対して、コンビに受診をなくす啓発活動をもっと強力に進めてください。 <p>【参考文献】坂下病院ふれあい通信H26年2月号・3月号・H28年9月号。朝日新聞デジタル「新専門医制度開始を1年延期医師不足加速を懸念2016.03.10」。「まちの病院がなくなる！？」伊関友伸著。「地域の医療が上手く回らないのは医師偏在のため？」旭川医大 住友和弘先生facebookノートより（http://drsammy.cocolog-nifty.com/haguredoctor/2012/02/facebook-c9ea.html）</p>
22	9/30	電話	市内 男性	<p>・今の取組内容はどんなものなのか？</p> <p>・地域協議会のメンバーは何も知らない区長達で、議論してもなにもならない</p>	<p>広報10月号を見た。今の取組内容はどんなものなのか？地域協議会のメンバーは区長と区長の推薦者としているが、何も知らない区長達で、議論してもなにもならない。人選が誤っているのではないかと？中津川市の医療を真剣に考えているのか？</p>
23	9/16	健康福祉会館		<p>・移設計画時点の計画予測が曖昧</p> <p>・南木曾への説明は、特に親切丁寧に行うべき</p> <p>・経営破綻の真の原因が欠落</p> <p>・縮小は撤退を意味し敗北宣言である</p> <p>・職員に【事業存続危機】に対する危機感がみられない</p>	<p>1.越県であるが、利用者からの観点では自由問題であろう。中津川市民病院、国保坂下病院へ移設計画時点の計画予測が曖昧と思う。</p> <p>2.南木曾への説明は、特に親切丁寧に行うべきである。（貸し切りバスで説毎を朝貢？される意欲は、真摯に受け入れるべき。</p> <p>3.経営破綻の真の原因は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPTで説明された内容は、「①経過②現状分析③要因抽出④今後のためのシミュレーション⑤解決策」。これはどこでも行うストーリーで目新しいものではない。 ・真の原因が欠落している。または、説明できないのかもしれない。「①真の原因は意思不足と医師の定着不安定②特に若い医師の定着不安定」この原因は何か？「①中津川市の教育レベル②文化教育的施設の不足③魅力ある町づくりが見えない」現に開業医院のご子息は、中津川の中の学校に通学していない。この意識が根底にある。中津川市の教育レベルがこうなった原因は明白である。過去4～5年前の養育カリキュラムを見れば分かる。知的学力軽視の代償です。 ・そこでどうするか？「①企業で言えば、縮小は撤退を意味し敗北宣言である②医師確保の手段を、緊急、中期、長期に分けて対策する。③市民病院の医療技術充実と回復治療機能の拡充である。自然環境資源は豊かである。病後の治療環境は都会にない機能です。④首都圏から1時間を切り到着できる自然環境豊かな総合病院は、売りと責めの資源と環境である。これの有効活用を検討したい。時間はかかるが、出来ないことではない。 ・その他の苦言「①職員・看護師・事務員すべてに【事業存続危機】に対する危機感がみられない②民間企業であればとくに倒産であり、倒産時の悲惨さは皆認識している③改善・合理化無駄の排除である。但し人名に影響する事の排除や合理化は慎重であるべき。

平成28年度 病院事業地域説明会について ご意見のまとめ（書面等でのご意見提出）《9月実施分》

	配布日	会場	地域	内容 1	詳細
24	9/16	健康福祉社会館	市内 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・完全民営化は慎重に考えてほしい ・市民病院の救急体制を充実するのが妥当 ・救急以外については、アクセス手段にて対応すべき ・高度医療も地元で全て行なうことは不可能 ・中津川市・木曽郡広域行政組合立として運営してはどうか ・長野県にも応分の医師確保努力をしていただく ・医師不足対応として医療補助者利用 ・医師の特急通勤（将来は新幹線通勤）を認める ・国・国会議員に働きかけて 	<p>9/16の説明会を拝聴しましたが、市側からの説明や出席者からの意見を聞いて感じたことを私の意見・提言とさせていただきます。私の考える程度のことは、重々お考えのことと思いますが、一市民の声としてお聞き置きください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.完全民営化は慎重に考えてほしい <ul style="list-style-type: none"> ・民の論理（損益のみ）で病院運営や病院の改廃を進められると、市民の要望と別の方向に行ってしまう。 2.病院は地元ないとダメだという意見に対して <ul style="list-style-type: none"> ・救急病院が近くにないと困るという意見は心情的には理解できるが、該当地域の救急頻度を考えると救急設備や人員を配置するのは無理があると思う。市民病院の救急体制を充実するのが妥当と思う。 ・救急以外については、開業医との役割分担や市民病院や開業医へのアクセス手段（通院乗り合いタクシー等）にて対応すべきと考える。 3.高度医療も地元で全て行なうことは不可能 <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療が必要な場合は、都会の病院にかかる。 ・そのために病状に合わせた高度医療を受けられるように、積極的に都会の病院を紹介する仕組みを構築してほしい。 4.南木曾町の人がそれほど困っているなら <ul style="list-style-type: none"> ・坂下病院は中津川市立ではなく、中津川市・木曽郡広域行政組合立として運営してはどうか。 ・長野県にも応分の医師確保努力をしていただく→信州大学に要請する 5.医師不足対応 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の負担軽減のために、医師免許がなくてもできる仕事は医療補助者が行なうようにする。 ・病院運営の効率化のために、人でなくても出来る仕事は機械に任せる。案内等にボランティアの人達が活躍しているが、それを拡大する。 ・医師の特急通勤（将来は新幹線通勤）を認める。 ・通信回線による外来の遠隔診察を行なう。 ・病状の安定している入院患者についても、担当医師が毎日いなくてもできるように、遠隔ケアを行えないか。 ・国・国会議員に働きかけて、現在の医師が都会に集中する仕組みを田舎にも来ていただけるような仕組みに変える。 <p style="text-align: right;">以上</p>